

第 1 回 栗 東 市 子 ども ・ 子 育 て 会 議 会 議 録 要 旨

日時・場所	令和 3 年 6 月 1 5 日 (火) 午後 6 時 3 0 分～午後 8 時 2 0 分 栗東市危機管理センター 3 階大研修室
出席委員	岸本晃委員、國松美保委員、濱田淑子委員、竹山和弘委員、白井洋一委員、本山真知子委員、田中裕委員、寺井利彦委員、國松芳子委員、山本初子委員 (副会長)、井上和子委員 (会長)、井上忠之委員、北村一子委員、長岡由美委員
欠席委員	加藤雅也委員、木築野百合委員
事務局	子ども青少年局長、幼児施設課長、幼児施設課民活等推進係長、幼児施設課民活等推進係担当、幼児課長、幼児課保育園係長、健康増進課長、子育て応援課長、子育て応援課課長補佐、子育て応援課子育て支援係担当
事 項	1 開会 2 市民憲章唱和 3 委嘱状交付 4 挨拶 5 委員及び事務局職員紹介 6 会長及び副会長の選出 7 議事 (1) 事業計画に基づく令和 3 年度の取り組みについて【資料 1】 (2) 特定教育・保育施設について【資料 2】 8 その他 9 閉会

1 開会

2 市民憲章唱和

3 委嘱状交付

- ・それぞれの机の上に委嘱状を交付した。(任期は令和 5 年 3 月 3 1 日まで)

4 挨拶

- ・市長が挨拶を行った。

5 委員及び事務局職員紹介

- ・委員及び事務局職員が順に自己紹介を行った。

- ・事務局より委員 1 6 名中 1 4 名の出席により定足数を満たしているため、会議が成立することを報告した。

- ・事務局より傍聴希望者がいなかったことを報告した。

6 会長及び副会長の選出

- ・委員の互選により、会長に井上和子委員、副会長に山本初子委員の就任が決まった。

- ・会長、副会長が挨拶を行った。

- ・市長が公務のため退席した。

7 議事

- ・委員より、本日の議事のうち非公開とすべき事項がある旨の意見がなかったことから、本日の会議はすべて公開となった。

(議事1)

事業計画に基づく令和3年度の取り組みについて【資料1】

- ・事務局が資料の説明を行った。

委 員	P 2 6 の養育支援訪問その他の要支援児童、要保護児童等の支援に資する事業について、令和2年度の量の見込みに対して年度末実績がかなり多いのはなぜか。不適切な養育状態にある家庭等が見込みを上回ったことになるが問題はないのか。
事 務 局	令和2年度の実績として、未就園児、家庭保育をされている家庭、乳幼児健診を受診していない子どもの家庭を家庭児童相談員が訪問させていただいた。その訪問件数が、令和元年度の63人に対して、令和2年度は81人と大きく増えている状況である。
委 員	より注意深く見られていると理解すればいいのか。
事 務 局	積極的に家庭を訪問させていただいているということである。

(議事2)

特定教育・保育施設について【資料2】

- ・事務局が資料の説明を行った。

委 員	資料1のP1に、令和3年度の取り組みとして、大宝幼稚園分園の閉園に伴う大宝幼稚園統合運営等の実施を検討しますと記載されている。大宝幼稚園は、園児数に対して建物は非常に大きいので、改修が必要などころはあると思うが、児童の受入については問題ないと思う。ただ、建っている場所が住宅地の中なので、保護者による送迎時の課題があり、令和5年度になって、先生方が保育と違うところでエネルギーを使うことにならないか心配である。そのあたりについてどう考えているのか。
事 務 局	大宝幼稚園分園は当初から10年という約束で開園した経過がある。現在、それを超えて17年目になるが令和5年3月をもって閉園の予定である。閉園後の受入先を大宝幼稚園とすることによる課題については、幼稚園の先生方とも相談しながら検討しているところである。
委 員	待機児童対策として小規模保育園をいくつか開設されたが、小規模保育園は2歳児までを預かる施設で、3歳児になると施設型の保育園や幼稚園に移れることになる。また、保育料無償化の影響を受けて、幼稚園から保育園に転園される方も増えている。このため、3歳児の受入先に空きがなく、今までは0歳児から2歳児までの待機児童が多いことから小規模保育園を増やしていたと思うが、今後は3歳児の受入先が重要であると思う。その中で大宝幼稚園分園が閉園になるが3歳児の受入先についてどう考えているのか。
事 務 局	3歳児の受入先についてはとても重要であると考えている。2歳児の待機児童は0人であるが3歳児は3人発生している。この受入について、資料1のP6の確保方策の内容にも記載しているが、令和2年4月に定員110人の認可保育園を開園、令和2年10月に定員19人の小規模保育園2か所を開園、令和3年4月に定員60人の認可保育園を開園し、ここまで

は計画どおりに進んでいる。今後は、令和4年4月に定員120人の認可保育園2か所を開園、定員170人の認定こども園を開園といった計画で、認可保育園については1か所が辞退されたことから、1か所のみを開園を目指して進めているところである。今後も計画に基づいて進めていくところではあるが、資料2の本市の児童数・事業量の推計のとおり、今後の児童数は計画の人数より少ない人数で推移していくと考えている。このことから、地域によっては空きが出てくることも踏まえて、今後どのように進めていくかを検討しなければならないと考えている。また、小規模保育園は連携園を確保して開園することが本来のスタンスなので、そのあたりも併せて3歳児の受入先について検討していきたいと考えている。

委員

国は認定こども園化を進めているが栗東市には認定こども園がない。認定こども園化をすることで、いま言われたことが改善されると思うが、そのような計画はあるのか。

事務局

栗東市では認定こども園ではなく幼児園として運営している。幼児園と認定こども園は周りから見れば大きな差はないと感じておられると思うが、幼児園は幼稚園舎と保育園舎が1つになった施設で、認定こども園は法律の基準に基づいて設置された施設である。計画において、公立幼児園の認定こども園化について検討を進めることになっているので取り組みを進めていきたいと考えている。また、幼児園だけでなく、単独の幼稚園や保育園についても認定こども園化を図ることによって、3歳児の受入先の拡大に繋がると考えている。ただ、認定こども園化をすることによって、職員数を増やさなければならないことになり、その人材の確保が大きな課題になる。簡単にいかないところもあるが、認定こども園化については取り組みを進めていきたいと考えている。

委員

4歳児と3歳児の子どもを治田保育園に通わせているが、2人が一緒に入れるまでに1年かかり、昨年度は3歳児の上の子が入れずに2歳児の下の子だけが入れたといった状況で、3月の三次審査で上の子が他の保育園に入れてもらえることになり、1年間通わせていただいた。途中入園の希望を1年間出し続けたが入れなくて、今年4月から1年越しで一緒に入ることができた。資料2に記載されている待機児童数の13人というのは、どこの保育園にも入れない児童が13人ということなのか。兄弟が別々の保育園に通っていて同じ保育園に入れたいといった方、希望の保育園に入れなかった場合に希望の保育園に入りたいといった方は待機児童数から除かれるのか。

事務局

常に入園調整をしており、兄弟で別の園に通っている方、転園希望の方の把握はしているが、表に出る数字としては、どこの保育園にも入れない待機児童が13人、特定の保育園を希望されている場合や不承諾を前提として申込みをされた場合で保育園に入っていない児童が58人ということになる。

委員

この58人のこともしっかり見ていただければと思う。栗東市は保育園に入れても、次年度に就労状況が全く変わっていない場合であっても継続して入れる保障がない。近隣市では就労状況が大きく変わっていない限り、次年度も継続して入れることが保障されていると聞いている。栗東市では3歳児に入れても4歳児で入れない場合があり、毎年1月の結果を冷や冷やしながらかまっている。令和4年4月開所の認可保育園の開園が1か所なくなったといったところではあるが、よろしくお願ひしたい。

事務局

治田小学校区は、特に入園希望者が多く、待機児童が発生している状況であり、今年度も上の子と下の子が一緒に入れられないといった状況の方がおら

れる。これについてはできるだけ解消していきたいと考えている。また、栗東市は近隣市と違って、保育を必要とする方を優先して入れていきたいので毎年入園申込みをしていただくことにしている。これについても、継続していくのか今後検討しなければならない時期であると考えている。

委員 葉山幼稚園に2人の子どもを通わせているが、葉山幼稚園の建築年数が47年であることを初めて知った。すぐに建て替えは難しいと思うが、これから30年以内に大きな地震が起こるであろうと言われている状況で老朽化対応についてどう考えているのか。

事務局 栗東市では、保育園や幼稚園だけでなく、すべての公共施設において老朽化対応が課題になっている。現在、施設ごとの長寿命化計画を立てているが、その計画どおりに進めると莫大な費用がかかるため、財政見通しを立てながら検討している状況である。葉山については、保育園舎は比較的新しいが、幼稚園舎は古いので、老朽化対応は喫緊の課題であると考えている。

委員 0歳児と2歳児の子どもがいるが、2歳児の待機児童数が0人であることに驚いている。昨年度、入園申込みの書類を取りに行った時に、在宅ワークで求職中であることを対応していただいた職員に相談したところ、入園は難しいと思うと言われたので、入園申込みをせずに、現在は子供を抱えながら仕事に行ったり、認可外の一時預かりを利用したりしている。待機児童数の13人、待機児童数から除かれる58人に入っていない隠れた待機児童がいることや入園を諦めて申込みをしなかった保護者がいることも知っていただければと思う。

事務局 保護者の就労形態も多様化してきている。3歳児以上であれば、保育園でなくても幼稚園の預かり保育で対応ができることもあり、これも無償化の対象になっている。夏休み等の長期休暇中は預かり保育がないため、そのような利用ができないといった声もあるので、そのあたりも検討したうえで、あらゆる方面から児童を受け入れられる方法を検討していきたいと考えている。ご意見は十分に受け止めさせていただきたいと思う。

8 その他

次回の会議日程について

- ・次回の会議は、3月頃に開催する予定をしている。

9 閉会

- ・局長が挨拶を行った。

以上